

# 回覧



## 2023 6月号

### 6/3 から

# 3つの展示がはじまります

6月3日より、3つの展示が会期スタートとなります。

いずれも西会津町の日々の営みの中で生まれたものや、かつて存在したのから発生した展示となり、「つくる」を共通キーワードに進めてまいりました。



【閉幕御礼】 もじのうみ展  
期間中、来場者〇〇人。  
たくさんのご来場ありがとうございました。



### 「てんをうつ」 絲人展

現代美術作家・西尾佳那と、現代詩人・野宮有姫による創作ユニット、絲人(しじん)。土地とひとを巡る旅を基盤に布と詩を媒介(メディア)として、きおくをつむぐ作品を製作。会津・東北の象徴的原風景と、都市や市街が内容し得る郷土性を、交わり対比しながら感じられる空間作品です。

### 「そこに在ったひかり」

#### 山田谷直行

写真家の山田谷直行氏が、西会津の大自然やこの土地に根ざした文化を通じて感じるままに写真に表現。出ヶ原和紙工房でコウゾの刈り取りから紙すきまでを自身の手で行い焼き付けされた作品は大地とそこに現れる風土をつなぐような展示です。

### 【関連イベント】

山田谷氏によるポर्टレイト撮影「西会津青写真館」

日時：6月3～11日、23～25日

芸術村が、1日限りの「学校」に様変わり！「演劇きょう室」がオープンします。飲食店や映画館に行くように気軽に演劇を楽しめる場を日本各地で作っている演劇作品専門店「演劇しよく堂」がやってきます。

今回は、芸術村の木造校舎と校庭を使い、「演劇きょう室」と銘打って開催されます。学校のように時間割が作られ、それぞれの授業の時間に演目が上演されます。

詳しくは↓



満月の日の特別な授業参観日

### 演劇きょう室

6/4(日) 10:00～16:00  
18:00～19:00 課外授業



### 今年で10回目の開催

### 草木をまもって山のかみさま

森のはこ舟アートプロジェクトからはじまった「草木をまもって山のかみさま」は今年で10回目を迎えます。日程：6月24日(土) お披露目 13時～13時40分 場所：大山祇神社神楽殿 観覧無料

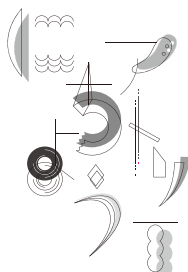


## 第18回 西会津国際芸術村公募展

6月1日(木)より  
応募の受付を開始いたします。

QR  
コード

詳しくは  
ホーム  
ページにて



# 今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

このほど、そのワークショップの映像が出来上がりまして、ぜひご覧ください。また、今年も光のワークショップを出来たらと思っています。情報発信をお見逃しなく！



動画 URL

昨年の11月、にちようアトリエのスペシャル回として、「こどもひかりつくるワークショップ」を行いました。内容は、パナソニックの照明で、全方向へ光の強さや色、光るリズムなどをプログラミングでコントロールできるといふものを、子供たちに体験してもらおうものでした。また、照明の周りを色々な素材で装飾して、グループごとにさまざまな世界観を作りました。これまでの、光照射するもの、ではなく、コンセプトを持って光を作り出す子供たちの姿に、大人も刺激を受けました。

## にちようアトリエ 6月予定表

6/4	お休み 「演劇きょう室」開催のため、お休みとなります。みんなでお楽しみしましょう！
6/11	『手作りマイカーでカーレース』 まずはオリジナルのマイカーを作るよ。出来上がった愛車で坂道カーレース！
6/18	『葉っぱスタンプ！』 芸術村の周りには色々な葉っぱがあるよ。スタンプしてみたら面白い形に見えるかも・・・？形を生かして絵にしてみてもいいかも！
6/25	お休み 前日の「草木をまよって山のかみさま」に全力投球しますのでお休みします。6/24は大山祇神社に来てね！

アトリエは…毎週日曜日 13:30 ~ 16:00(時間内の出入り自由)、参加費無料、予約不要です！

## スタッフおすすめ 今月の本

### 「遊び」の本質

著：天野秀昭



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフのおすすめの本をご紹介します。今回は市古が担当します。「プレーパーク」と呼ばれる遊び場に40年以上関わってきた方が見てきた子どもの時間を綴った本です。遊育、それは小さい子どもも、小学生になっても成長に大事なキーワード。子どもと今向き合っている方、これから向き合う方にもぜひ読んで頂きたいなと思います。たくさん世代の方にこそ来館いただき、アトリエをはじめ子どもとの関りもある芸術村でも「私」と「遊び」について考えを巡らせたいと思います。



草木が次々と芽吹いて、新緑が眩しい季節。視界が緑で覆われてくるこの時期がとても好きです。

庭の山椒が芽吹いてくると、わが家では、ニシンの山椒漬けを作っていました。子どもの頃は身欠きニシンの香りも山椒の香りも苦手な食で楽しむどころではありませんでしたが、今は好きな郷土料理のひとつです。会津にはニシンの山椒漬けをつくるための「ニシン鉢」という専用の入れ物があります。ひとり暮らしをはじめるとき、なぜかそのニシン鉢を持っていきました。そして、今も自宅にあります。今年こそ、ニシン鉢をつかってニシンの山椒漬けつ



くってみようかなあ。

## インスタ日記

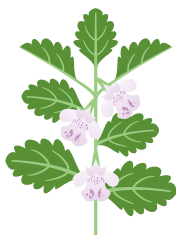
# 写真撮影の舞台裏

芸術村の玄関には、スタッフが季節で草木を生けています。風通しの良い玄関から、今日もお客様のお越しをお待ちしています。

# 置かれた場所で咲く花



NEW  
マワリテメクハ  
カキドオシ(シソ科・多年草)  
その名前は生け垣を突き抜けるほど勢いよく伸びる様子から付けられました。小児の癩の薬の原料薬草となることから、癩取り草という別称も。全草を乾燥させたものは、日本名：連銭草、中国名：金錢草という名称の生薬。ミントのような香りは、鎮静作用があるとされています。  
「つかいかた」  
乾燥させてお茶にするのが一般的。春の茎葉と花は、お浸しや天ぷらなどで食べることができます。



カキドオシ

SNS更新中！  
チェックしてみてね！

【お問い合わせ】西会津国際芸術村  
tel : 0241-47-3200  
mail : niav.public@gmail.com  
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

【HP】 【LINE】 【instagram】 【Facebook】 【YouTube】 【Twitter】

